

工業部会通信

(発行) かながわ経済新聞合同会社
〒252-0239
相模原市中央区中央3-12-3
商工会館本館1階
※プリントしてご自由にお読みください。



ロボットは東大に入れるか？

求められる「人の力」

新井教授招き講演会



近未来技術研究会

近未来技術研究会(田森幸一会長)は3月1日、市立産業会館で「ロボットは東大に入れるか! 人工知能社会で求められる人の力」をテーマに公開講演会を開催。国立情報学研究所の新井紀子教授を招いた。市民や事業者など117人が参加し、熱心に聞き入っていた。

新井教授は「AI(人工知能)は答えを当てられても意味は理解していない。これがAIの現状の限界」と説明。そのうえで「東大には入れないが、全国の受験者の平均を大きく上回る成績を残している。これは将来ホワイトカラー労働者の半分がAIに代替されることを意味する」と続けた。近い未来に代替される可能性が高いのは、金融

ロボットは東大に入れるか。2011年、このプロジェクトはAIが東京大学合格を目指すことで、AIの可能性と限界を明らかにするために同研究所でスタートした。

東大受験に挑んだのは、AI「東ロボくん」。東ロボくんは、16年にセンター試験5教科8科目を受け、525点と全国平均の454・8点を大幅に上回るという成績をあげた。これは「MARCH」や「関関同立」などの大学で、合格率80%以上と判定される水準だ。

これまでの研究から、既にAIは多くの受験生を上回る能力を持っていることが判明。しかし東大に合格するレベルに達するには、現状のAIの技術では限界があることも分かり、東ロボプロジェクトは一旦終了となった。

新井教授によると、実は同プロジェクトの本当の目的は、単に頭のよいロボットをつくって東大入試を突破することではないという。

「AIが人間に代わり社会に普及したとき、どうやって生きていくべきなのか。これから起こる危機を認識し、国民がAIに負けないためにはどうすべきかを示すことが目的」と新井教授は明らかにしていた。

機関の与信審査担当、弁護士補佐などを挙げた。一方、新井教授は中高生の文章の読解力は、AIよりも劣っているという調査結果も紹介。「AIの精度を上げるより、子どもの読解力を高めることが先決。今後はそのための教育改革を実現し、日本の将来に向けた人材育成をする事が研究者としての使命」と講演を締めくくった。



挨拶する近未来技術研究会の田森会長

産業精神保健機構 4月17日に 情報交換会
大手企業と比べ立ち遅れているとされる中小企業のメンタルヘルス対策を支援しようと、昨年発足した産・学・士業による「産業精神保健機構」(松岡康彦代表理事)は、4月17日の午後5時半から市立産業会館で、北里大学大学院の田中克俊教授による講演会と情報交換会を開く。同機構は相模原市内の工業系企業を中心とした30社と田中教授、社会保険労務士で構成。中小企業経営者に対してメンタルヘルスへの理解促進などを促す活動を行っている。

工業部会員のJET選出 「需要獲得」の分野で

経済産業省・中小企業庁は、ITサービス導入や経営資源の有効活用により、生産性向上などに努めている優れた

中小企業・小規模事業者を選定する「はばたく中小企業300社」を公表。相模原からはJET(中央区田名)が選ばれた。

はばたく中小300社

「生産性向上」「需要獲得」「担い手確保」の3分野で独自の取り組みをしている中小・小規模事業者を計300社選出。冊子で紹介した。特に「担い手確保」では、

人材不足に対する課題解決に向け、知恵を絞っている中小企業の事例を紹介している。今回選ばれたJETは「需要獲得」の分野。同社は微細穴加工を含む超精密機械加工、高精度ハイテク産業機器(製造設備、ロボット)の開発・設計・製造、多軸ロボットを活用したシステムインテグレーションを展開する設備メーカー。1999年に精密加工部品製造を開始。2000

0年に社名を遠藤製作所からJET(II)ジャパン・エボリューション・オブ・テクノロジに変更し、省力化自動機及びロボットシステムの設計、計開発事業に参入している。その後、売り上げを精密加工事業と同等程度に拡大することに成功。得意分野技術を磨き上げ、顧客ニーズに応じることで、就任当時と比べ、従業員数は約5倍、売り上げは約7倍を達成している。

「自動運転技術」で他部会と連携事業 5月29日に講演会開催

工業部会は2017年度から建設部会、交通運輸部会と「自動運転技術」をテーマにした連携事業を始める。自動車の自動運転技術の普及により、ものづくりや交通サービス、インフラ、社会生活にどのような革命が起こるかを考える。また、それに伴う新興ビジネスや既存産業に与える影響と対策などについても考える。



Alter+ オルタプラス

防犯カメラ

ラクラク防犯対策 はじめよう!

オルタプラスは「誰でも気軽に」使える「ラクラク防犯」をテーマにした製品づくりを行っています。カンタン取付、カンタン操作を実現して、ご家庭の「見えない不安」を解消し、安心をお届けします。



お電話でのお問い合わせ

042-775-7200

オルタプラス総合サイト

http://www.alterplus.jp

株式会社 キャロットシステムズ 〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本1-16-18
http://www.carrotsys.co.jp/